

記入例

事業提案書

1. 提案者の概要

(1) 団体・法人の名称	株式会社エネルギーシステム		
(2) 所在地	〇〇市〇〇町〇丁目〇番〇号		
(3) 担当部署名	営業本部 営業第一課		
(4) 担当者職・氏名	営業第一課長 大阪 太郎		
(5) 担当者連絡先	電 話	00-0000-0000	
	F A X	00-0000-0000	
	メールアドレス	Osaka. ene. co. jp	

2. 事業の概要

(1) 導入予定施設の名称及び施設の種類	名 称	株式会社エネルギーシステム 本社	
	種 類	<input type="checkbox"/> 市町村庁舎・支所等 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 公民館 <input type="checkbox"/> 体育館 <input type="checkbox"/> 集会所・コミュニティ施設 <input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> その他 ()	<input type="checkbox"/> 公園 <input type="checkbox"/> 上下水道施設 <input type="checkbox"/> 医療施設 <input type="checkbox"/> 社会福祉施設 <input checked="" type="checkbox"/> 帰宅困難者支援施設
(2) 導入予定施設の所在地	〇〇市〇〇町〇丁目〇番〇号		
(3) 事業の概要	※図などを活用したり、資料（様式任意）を添付しても構いません。 大阪府との災害時における帰宅困難者支援に関する協定に基づき、帰宅困難者支援施設として指定されている弊社本社ビルへの太陽光発電設備及び蓄電池を設置するもの。		

<p>(12) 事業の効果、特徴</p>	<p>非常用発電機を備えていない弊社に太陽光発電設備及び蓄電池を設置することで、以下の効果が得られます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平常時：電気代の節約、電力需要のピークカット、CO₂削減 ・災害時：非常用電源の確保（必要最低限の照明等に利用） <p>また、弊社本社ビルでは、帰宅困難者の収容を最大3日間として想定し、準備を整えているため、大阪府及び〇〇市の災害応急・復旧対策の一助となります。</p>	
<p>(13) 導入予定施設の耐震性の状況</p>	<p><input type="checkbox"/> 昭和56年6月1日以降の建築確認を得て建築された建築物</p> <p><input type="checkbox"/> 上記以外で耐震性を有すると診断された建築物</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 耐震改修を実施した建築物</p>	
<p>(14) 導入する設備の状況</p>	<p>設備の種類</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 太陽光発電設備 <input checked="" type="checkbox"/> 蓄電池設備 <input type="checkbox"/> その他 	<p>仕 様</p> <ul style="list-style-type: none"> ・形式名 AAAA-25-AAAA (太陽光) BBBB-25-BBBB (蓄電池) ・製造者 ××株式会社 (太陽光) △△株式会社 (蓄電池) ・定格出力 (kW) 10KW ・蓄電池の容量 (kWh) 5KW ・消費電力 (kW) 00KWh (太陽光) 00KWh (蓄電池)
<p>平常時における導入設備の使用頻度・稼働状況</p> <p><使用する期間></p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ毎日使用 <input type="checkbox"/> 平日のみ又は週5日程度使用 <input type="checkbox"/> 時季により使用 <input type="checkbox"/> その他 () <p><使用する時間帯></p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 1日中可能 <input checked="" type="checkbox"/> 日中のみ使用可能 <input type="checkbox"/> 夜間のみ使用可能 <input type="checkbox"/> その他 () 		
<p>期待されるCO₂削減量</p> <p>※太陽光発電以外の再エネ設備を導入される場合のみ記載</p> <p>年間CO₂削減量 (●●) t-CO₂</p> <p>計算式</p> <p>[■風力発電の計算例 <<年間温室効果ガス削減量 (t-CO₂) >>]</p> <p>0.001×●●[年間発電量 (kWh)]×0.514 [平成24年度の関西電力(株)のCO₂]</p>		

	<p>排出係数（実排出係数）]</p> <p>＜年間発電量＞</p> <p>●[定格出力（kW）]×●[設備利用率]×8,760[年間時間（h）]</p> <p>※設備利用率は、●●出典の資料「●●」を参考</p>
	<p>特記事項</p> <p>※導入する設備について、特筆すべき事項があれば記載してください。</p> <p>※図などを活用したり、資料（様式任意）を添付しても構いません。</p>
(15) 導入設備のPR計画	<p>御社ビルの入口に導入した設備の写真や紹介を掲示し、来社された方に対して、環境や防災対策への取組をPRする。また、毎年参加している〇〇市地域防災訓練において弊社導入設備のPRを行う。</p>
(16) 補助事業の着手及び完了予定日	<p>補助事業の着手予定日 平成27年1月15日</p> <p>〃 完了予定日 平成27年3月15日</p>

3. 交付申請見込額の算出

(1) 総事業費 ※(2)+(3)+(5)		16,200,000	円
(2) 単独事業費		0	円
(3) 事業に要する経費 (消費税込み)		16,200,000	円
(4) 事業に要する経費 (消費税抜き)		15,000,000	円
(5) 寄付金その他の 収入額(公的な補助金等)	寄付金等の 名称及び対象	—	0 円
(6) 補助対象経費 ※民間の場合：(4)-(5)<注> ※市町村の場合：(3)-(5)		15,000,000	円
(7) 交付申請見込額 (千円未満切り捨て) ※民間の場合：(6)×1/3 ※市町村の場合：(6)×10/10 又は高効率照明等(6)×2/3		5,000,000	円

<注>民間事業者にあつては消費税及び地方消費税額は補助対象経費としない。

(補助事業に要する経費の内訳)

経費の区分	内 容	事業に要する経費 (税込み)	事業に要する経費 (税抜き)	備 考
①設計費	太陽光発電及び蓄電池 連携システムの設計	1,080,000 円	1,000,000 円	
②本工事費	太陽光発電及び蓄電池 の材料費、配線費用等	15,120,000 円	14,000,000 円	
③付帯工事費		円	円	
④機械器具費		円	円	
⑤測量及び試験 費		円	円	
⑥事務費		円	円	
⑦その他		円	円	
合 計		16,200,000 円	15,000,000 円	

4. 事業実施スケジュール

26 年 度	
27 年 度	

※スケジュールには、「事業着手日」、「実施設計完了日」、「工事施行日」、「工事検査日」、「事業検査日」、「事業完了予定日」等のスケジュールを記載してください。
※図などを活用したり、資料（様式任意）を添付しても構いません。

5. 事業の運営管理体制

【体制図】 ※図などを活用したり、資料（様式任意）を添付しても構いません。
